

NO. 49 2011年9月27日発行
発行責任者 森越 初美
TEL 03-5320-7412(直)
内線 63-210
FAX 03-3349-1502
Eメール info@eiseikyoku-shibu.com
URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

えいせい

衛生局支部

職場から出された組合員の切実な

要求実現のため当局と要請行動

衛生局支部・病院支部は、9月13日病院経営本部、福祉保健局と要請行動を持ちました。最初に病院経営本部と行い、藤田経企画部長、中村職員課長が発言を行いました。各項目事に回答を行った、中村課長の発言の要旨を支部教宣部の責任で掲載します。(中見出しは教宣部)

現業関係の要求について 看護師の人員確保・処遇改善について

病院の現業職場の皆さんには、患者サービスの向上や医療安全の確保など、日頃からその専門性、特殊性の中で業務に精励されていることについて十分承知している。

現業職場については、「事務事業の見直しやアウトソーシングの推進など、業務執行方法の改善を進める」よう、全庁的な方針として副知事依命通達の中でも推進されている。このように、大変厳しい状況に変わりはないが、個々の業務の専門性・特殊性について、これまで同様、人事当局をはじめ関係部に理解を求めていく。

看護師の確保対策として 新卒看護師の春採用が重要であることは議論の余地はない。採用者の中で大きな割合を占める都立看護専門学校との連携を引き続き密にし、さまざま工夫をすることにも、東京近郊のみならず、地方の看護系大学や就職説明会にも直接足を運び、都立病院の特色・魅力をPRするなど、最大限の努力を図っている。

看護師の確保対策として、新卒看護師の春採用が重要であることは議論の余地はない。採用者の中で大きな割合を占める都立看護専門学校との連携を引き続き密にし、さまざま工夫をすることにも、東京近郊のみならず、地方の看護系大学や就職説明会にも直接足を運び、都立病院の特色・魅力をPRするなど、最大限の努力を図っている。

受験者の負担軽減を図ることで新卒者の確保

昨年度の採用選考からは、受験者に分かりやすいようI類・II類の区分を統合し、新

卒・中途の区分として改めたほか、選考内容も一般選考の場合は小論文と面接のみとし、受験者の負担軽減を図った。その結果、採用予定数を大幅に上回る申込数となり、新卒看護師の確保につながっている。

また、看護師の育成に関しても、平成22年度から「東京看護アカデミー」として、それまでの教育制度をさらにブラッシュアップし、研修体系をリニューアルしたところ。とりわけ、新卒看護師の能力向上と早期離職防止を目的とした「看護臨床研修」の取り組みについては、皆様のご協力を得まして、余裕を持った日程でOJTを行うことにより一定の効果を上げています。

人材育成策として専門資格取得支援

ますます高度化し、専門化する医療業務に対応するための人材育成策として、「認定看護師」派遣研修やコ・メディカル職種の専門資格取得支援など、職員研修の一層の拡充に努め、各部門におけ

る安全確保対策強化にも引き続き取り組んでいく考えである。

さらに、勤務環境の整備としても、これまでと同様に、現場の職員の意向や病院・分会での議論を踏まえた上で、患者サービスの向上や病棟特性などを複合的に検討し、皆さんと協議して進めていきたい。

また、平成22年度から新設した「特定看護分野従事手当」は、専任リスクマネージャーや感染管理担当者のほか、専門・認定看護師の行っている重要・困難な業務内容を評価したもの。こうした処遇改善策も十分活用しながら、引き続き看護師の確保・定着対策に取り組んでいく。



職場要求を訴える参加者

総合周産期・母子医療センターの指定を受けた多摩総合医療センター・小児総合医療センター

昨年3月に、府中病院は、「多摩総合医療センター」として、また、清瀬・八王子・梅ヶ丘の3つの小児病院は、移転統合により「小児総合医療センター」として、それぞれオープンした。この両病院が連携し、常時、母体・新生児の搬送を受け入れる「総合周産期 母子医療センター」の指定を受けているが、さらに昨年9月には小児総合医療センターが「子ども救命センター」の指定を受けたところである。

多摩総合医療センターは、三次救急をはじめ、周産期医療などのセンター的機能を担い、多摩地域の基幹的な医療拠点として、また、小児総合医療センターは、小児に関し、「こころ」から「からだ」に至る高度・専門的な医療を提供する病院として、引き続き皆さんのご協力をいただきながら、患者サービスの向上に努めてまいりたい。

院内保育室の充実

院内保育室については、これまで現場の需要に応じ、土曜日開室や24時間保育の拡大などを進めてきた。

一方で、昨年度の包括外部監査において、「契約上の定員と実際の保育児数との間に大幅な乖離が生じている時があり、利用実績に応じて年度中の契約変更を行うなどとも検討するべき」との指摘を受けている。

今年度も、一部にこうした状況が見受けられるので、包括外部監査の趣旨も踏まえながら、今後も職員が働きやすい勤務環境の整備を進めるとともに、職員の確保・定着につながるよう、努めていく。

職務住宅の増室

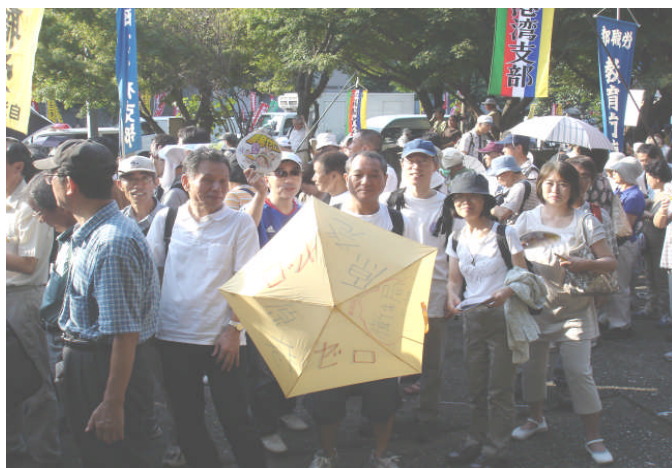
職務住宅の増室について、9月1日現在の入居状況を見ると、全体で83.9%の入居率となっており、各病院ともそれぞれ空室が生じている状況。お話のようなご要望があるということは、各病院において、入居を希望する職

員の方へのお知らせが十分でないという問題があることも考えられる。

職務住宅についても、院内保育室と同様に昨年度の包括外部監査で指摘を受けており、特に借上住宅の空室に關して、不必要な賃借料を長期間にわたって支払うことのないよう意見が付されている。こうしたことも踏まえ、職務住宅の管理を適切に行うよう、各病院との情報共有について、引き続き努めていく。

6万人つどろ

原発さようなら！



9月19日、明治公園で行われた、「さよなら原発5万人集会」は、主催者発表で6万人の人々が集まりました。

衛生局支部からもOBも含め多数参加し、「原発ノー」の声を青空にとどろかせました。

呼びかけ人の大江健三郎さん以下、「反原発」の思いが参加者全員の共通した思いになりました。



衛生局支部囲碁大会が、行われOBの和田さんが優勝し、副支部長の石井さんが準優勝を果たしました。(プロと記念写真)

今後の日程

- ★地域医療を守る運動全国交流集会
日時 10月1日～2日 13時30分
場所 全国町村会館
- ★憲法講座
日時 10月1日(土) 13時～
場所 明治大学駿河台キャンパス
- ★自治労連社会保障集会
日時 10月15日(土) 11時
社会文化会館
- ★横浜基地もいらない市民交流集会
日時 10月15日(土) 13時
場所 福生市民会館大ホール
- ★はたらく女性の中央集会
日時 10月15日～16日
場所 日本教育会館一ツ橋ホール

衛生局支部・病院支部フットサル大会

- 1 日時 10月8日(土) 午前11時
- 2 場所 松沢病院体育館
- 3 参加費 無料

※個人でも参加できます。

生協からのお知らせ

きょう9月27日(火) お昼休み
 ☆ サンプルーン350㌦
 組合員 330円、その他 370円
 ☆ 露地巨峰350㌦
 組合員 370円、その他 400円
 衛生局支部書記局27階南側
 ※本庁舎以外で取り組む場合は予め連絡ください。

第9回都庁わいわい生協祭り

- ☆ 日時 10月6日(木)午後5時45分
- ☆ 場所 都庁第1庁舎32階西洋フーズ
- ☆ 内容 ●イベントと抽選会
 ●各種販売
 ●漫才